

- ☑ 3省庁共同 外食時「おいしい食べきり」全国キャンペーン
- ☑ 国連生物多様性の10年「グリーンウェイブ2017」の実施結果が発表



資源循環 TOPICS

忘新年会シーズン到来！ 「おいしい食べきり」全国キャンペーン

環境省、農林水産省、消費者庁は、「全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会」と連携し、平成29年12月から平成30年1月までの忘新年会シーズンに、全国の自治体において、外食時の「おいしい食べきり」全国共同キャンペーンを実施します。

まだ食べられるのにも関わらず廃棄されている食品、いわゆる「食品ロス」は、年間621万トンと推計されており、消費者・事業者・自治体を含めた様々な関係者が連携し、食べきりを推進することが重要です。

キャンペーン期間中は、忘新年会シーズンとあって多くの飲食店で宴会が開かれることに着目し、宴会料理の食べきりを促すための「宴会五箇条」や「30・10運動」等の普及に取り組むとともに、外食における食品ロス削減に資する普及啓発資材の展示、また食品ロス削減普及啓発三角柱の設置、さらには事業者・消費者向けキャンペーン内容の紹介などが行われます。

<キャンペーン概要>

○ 実施期間 : 平成29年12月1日(金)～平成30年1月31日(水)

○ 企画概要

- 「おいしい食べきり」全国共同キャンペーンの周知
- 普及啓発用三角柱POPダウンロードの促進(環境省)
- 食品ロス削減の啓発パンフレットの配布(消費者庁)
- 外食における食品ロス削減普及啓発資料展示(農林水産省)
- 農林水産省本省内食堂における普及啓発(農林水産省)

このキャンペーンについて、詳しくは農林水産省の特設ホームページに掲載されていますので、下記リンクから参照ください。

<https://goo.gl/qe5Skm>

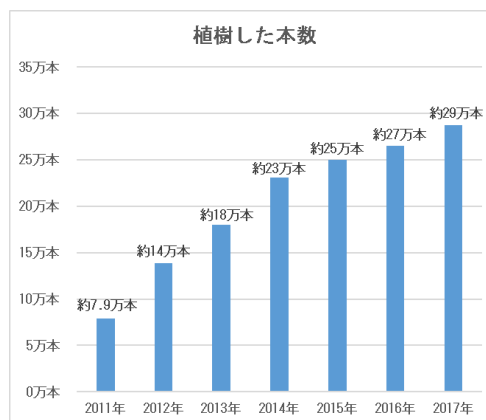
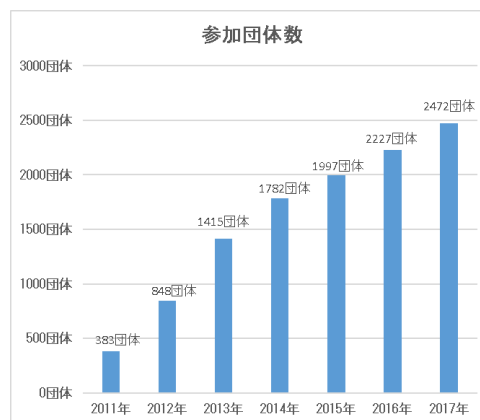
食品ロス削減のため、外食産業の皆様にはお客様への働きかけを、またこの年末年始に忘新年会が予定されている皆様には食べきり運動への積極的な参加を、どうぞよろしくお願いいたします。

国連生物多様性の10年「グリーンウェイブ2017」の実施結果が発表されました

生物多様性条約事務局は、国連が定める「国際生物多様性の日」（5月22日）に、世界各地の青少年、子どもたちの手でそれぞれの学校や地域等で植樹等を行う「グリーンウェイブ」への参加を呼びかけています。これを受けて、農林水産省、国土交通省、環境省及び国連生物多様性の10年日本委員会（UNDB-J）では、生物多様性に関する理解が社会に浸透するように、植樹等をきっかけとした生物多様性の広報、教育、普及啓発を推進するため、今年3月1日から6月15日までの期間を国連生物多様性の10年「グリーンウェイブ2017」として、広く活動への参加を呼びかけましたが、去る11月18日にその実施結果が発表されました。

<「グリーンウェイブ2017」実施結果>

- (1) 参加団体（グリーンウェイブ活動を計画及び実施した、または植樹等の行事に参加した団体）…245 団体
協力団体（苗木・場所提供や技術指導等を実施した団体）… 193 団体
- (2) 植樹等の活動に参加した人数…約 9,500 人
- (3) 植樹した本数…約 21,700 本
- (4) これまでの累積結果



「グリーンウェイブ2017」の実施結果について詳しくは、下記リンクより林野庁のホームページを参照ください。

<https://goo.gl/NHqECm>

また、SEFはこの趣旨に賛同し、5月27日（土）に日向の森（千葉県山武市）にて“「グリーンウェイブ2017」記念植樹会 in 日向の森”を国連生物多様性の10年日本委員会（UNDB-J）との共催で開催し、64名の参加者と120本の植樹活動を行いました。その様子はSEFホームページにて紹介しておりますので、下記リンクよりぜひご覧ください。

<http://save-earth.or.jp/archives/4817>

ゼロエミッション研究会 第6回勉強会を11月14日（火）に開催しました

SEFでは、排出事業者の立場から廃棄物・資源循環の課題に“本気”で向き合い、解決への道筋を導き出す場として、「ゼロエミッション研究会」を立ち上げ、6月から毎月1回勉強会を開催しています。

11月14日に開催した第6回勉強会では、神戸大学経済学研究室の教授で、NPO法人ごみじゃぱん理事長の石川雅紀氏を迎え、前半では石川氏による講演、後半ではワークショップでの意見交換が展開されました。

前半の石川氏の講演では、昨年1月に発生した食品廃棄物の不正転売事件を総括しながら、

- ◆ 排出者責任と二つのPPP
- ◆ 廃棄物処理ビジネスの特殊性と廃棄物管理制度の制度設計
- ◆ 公的監視と私的監視
- ◆ 動脈企業での廃棄物管理の位置付けと循環型社会での廃棄物管理

といった論点について、経済学的視点から排出者責任と廃棄物管理に対する考え方を整理して頂きました。



そして後半のワークショップでは、SEF 志岐理事がファシリテーターを務め、前半の講演内容を振り返りながら、

- ◆ 「排出者責任」に対する視点の違い
- ◆ 「捨てても仕方ない」から「捨てないように作ろう」へ
- ◆ 容器包装リサイクルの課題～排出事業者は声を上げよ～

といったテーマについて、石川氏や参加者との議論が交わされました。

今回は行政の担当者にも参加頂いていたことから、ワークショップでは活発な意見交換がなされ、具体的な話題も多く上がり充実したワークショップとなりました。

参加者のアンケートからは、「廃棄物処理ビジネスには“私的監視”が働きにくい」という論点について興味関心を持たれた方が多く、改めて『排出者責任』の定義や考え方について確認するきっかけになったというご意見を多くいただきました。

ゼロエミッション研究会 第7回勉強会は12月19日（火）開催予定です

このゼロエミッション研究会では、各回とも廃棄物・資源循環に関する専門家を講師に招き、最新の情報やノウハウを学ぶことができるほか、ワークショップを通じて排出事業者としてこれからの廃棄物管理・資源循環にどう主体的に取り組んでいくかを共に考える機会を提供してまいります。第6回勉強会は下記の概要にて開催予定です。新たに年間受講を申込み頂いた方には、過去開催分の映像と資料をご用意しておりますので、ぜひお得な年間受講をご検討ください。

ゼロエミッション研究会 第7回勉強会 開催概要

日程

平成29年12月19日（火）
15:00～18:00（受付14:30～）

プログラム

15:00～16:30 講演
地域循環型食品リサイクルループの取組み
～廃棄物管理・資源循環の課題とその解決策～
講師：ユニー株式会社執行役員 CSR部長 百瀬則子 氏
16:30～18:00 ワークショップ
～バリューチェーン全体で考える食品ロス削減に向けた課題とその対策①～
ファシリテーター：株式会社ガイアドリーム代表取締役 志岐秀明 氏

会場

トレジャーリンク会議室 東京都中央区京橋2-6-16 エターナルビル3F
<アクセス> 【銀座線】京橋駅6番出口徒歩1分
【浅草線】宝町駅A6出口徒歩2分
【有楽町線】銀座一丁目駅7番出口徒歩5分

対象者・定員

対象者：企業の環境・総務部門担当者
定員：20名（先着順）

参加費

【年間受講料】一般：80,000円 会員・SEF-Netユーザー：50,000円
【1回受講料】一般：10,000円 会員・SEF-Netユーザー：6,000円
※年間受講料は、参加回数に応じた割引制度を設けています。

お申込み

お申込みはお電話・FAX・メール・ホームページ、いずれでも承ります。御社名、お名前、ご連絡先を事務局までご連絡ください。

<http://save-earth.or.jp/archives/52015201>

皆様のご参加をお待ちしております。

東御の森（長野県東御市） 森林環境イベント「森から学ぶ」第4回講座を開催 しました

10月21日（土）、カラマツが色づきはじめた東御の森にて、森林環境イベント「森から学ぶ」の第4回講座を開催しました。

8名の参加を得て、講師として招いた株式会社Biotop Guildの自然観察調査員に植物や野鳥のことなどを質問しながら、約2時間をかけてゆっくりと森林内を散策しました。

この連続講座は（公社）国土緑化推進機構「緑と水の森林ファンド」の交付金による助成事業で、「東御の森」での森林環境イベントとして、東御市と（公財）身体教育医学研究所の協力により実施しています。



東御の森（長野県東御市） 第4回 東御の森 市民の集い～ふるさとの森を歩こう～を開催しました

雲一つない秋晴れの青空となった11月5日（日）、今回で4回目となる「東御の森市民の集い」を開催しました。昨年に続き、メイン会場として郁文館奈良原研修センター「志高館」のグラウンドをお借りし、スタッフ含め約50名に参加いただきました。

河畔をのぼりながら東御の森の自然や史跡をゆっくりと見学する「森歩きコース」は小学校高学年以上の方向けとしてご案内し、約10名が参加。

また、幼稚園～小学校低学年のお子さんでも森を楽しんで頂けるように短めに設定した「森あそびコース」には20名を超える親子が参加。子どもたちは川岸に降りて水遊びをしたり、地面にしゃがみ込んでドングリや生き物を探したりしながら、思い思いに森あそびを楽しんでいました。

昼食は東御市農林課職員の皆さんにより、地元の猟友会から提供頂いたシカ肉・クマ肉・イノシシ肉を使った「信州ジビエ汁」をつくっていただきました。風が冷たかったこともあり、体が温まると大評判。子どもたちも美味しそうに頬張っていました。

市民の皆様にも少しでもふるさとの森の魅力を知って頂き、森について興味関心を持っていただくきっかけを提供したいとの思いから始めたこのイベント。来年も開催いたしますので、ご期待ください！



森林再生事業 活動報告

臼杵の森（大分県臼杵市） 森林ボランティア活動を実施しました

11月18日（土）、臼杵の森の保全活動パートナーである（株）ワタミファーム&エナジー臼杵事業所との共催で、臼杵市役所職員、九州地域のサポーターなど計35名参加のもと、本年度1回目となる臼杵の森ボランティア活動を実施しました。

今回の相手は“竹”。かつては食品会社の筍生産林で、生産を取りやめたため放置されてしまっていた竹林の保全活動を行いました。想像以上に固くて長い竹を目の前に約2時間、慣れない手つきながら懸命に取り組んで頂きました。



次回の臼杵の森での活動は、来年の春を予定しています。今春に続きサクラの植樹を行う予定ですので、詳細のご案内をご期待ください！

SEFからの

おしらせ

12月・1月 森林保全活動のお知らせ

★★★★ボランティアさん募集中！★★★★



SEFでは、各地域での森林保全活動をお手伝い頂けるボランティアさんを募集しています。千葉県山武市では原則として毎月第2・第4土曜日（東京駅から送迎いたします！）に定例活動を行っているほか、兵庫県丹波市、大分県臼杵市でも定期的にも実施しています。直近の活動は下記を予定していますので、ぜひご参加下さい。

<12月・1月の活動予定>

- 千葉県山武市
12月9日（土） 1月…13日（土）、27日（土）
- 兵庫県丹波市
12月16日（土） 1月28日（日）

※日程は変更となる可能性があります。最新の情報はホームページを参照ください。
ホームページはコチラをクリック…<https://qoo.qi/uEt3CZ>

